

奈良県地域医療構想策定に係る 県民アンケート調査

単純集計結果 (中間報告)

平成28年3月8日

目次

I. 調査の実施概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査票の配布・回収の状況	1
4. 標本抽出計画と集計にあたっての整理事項	1
5. 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて	2
II. 回答者の属性	3
III. 調査結果	4
1. 市町村や都道府県での取り組みについて	4
(1)「地域医療構想」の認知度	4
(2)「地域包括ケアシステム」の認知度	4
2. 日常的に受診する医療機関や地域の医療について	5
(1)「かかりつけ医」の有無	5
(2)よく受診する病院・診療所までの所要時間	5
(3)地域の医療の満足度	5
(4)地域の医療施設の状況	6
(5)「コンビニ受診」に対する考え	6
(6)医療施設の役割分担に対する考え	7
(7)今後充実して欲しい医療分野	7
3. 居住地域の「在宅医療」および「在宅介護」について	8
(1)「在宅医療」の認知・利用状況	8
(2)現在利用可能と認識している在宅医療・在宅介護	8
(3)利用を希望する在宅医療・在宅介護	9
4. 回答者や家族の終末期について	10
(1)回答者自身の終末期の考え	10
(2)家族が自宅看取りを希望した場合の考え	10
5. 医療情報の電子化について	11
(1)ICT技術の推進意向	11
6. 地域の医療・介護の提供体制について	11
資料 使用した調査票	12

I. 調査の実施概要

1. 調査の目的

地域医療構想の策定に当たり、地域の医療提供体制について意見を伺い、今後の取組に活用することを目的に、アンケート調査を実施した。

2. 調査の設計

- 調査地域 奈良県全域
- 調査対象 県内在住の20歳以上の男女・個人
- 調査標本数 1,000人
- 調査抽出法 5地域(奈良・東和・西和・中和・南和)の人口割合に応じて標本数を按分
さらに地域ごとに1～4つの市町村を抽出し、各市町村の人口割合に応じて按分
- 調査方法 郵送配布・郵送回収。
- 調査時期 平成28年2月15日(月)～平成28年2月29日(月)

3. 調査票の配布・回収の状況

- 配布件数 1,000件
- 回収件数(率) 456件(45.6%)
- 有効回答数(率) 455件(45.5%) ※回収件数から無効票(白票)1件を除いた集計母数対象件数

4. 標本抽出計画と集計にあたっての整理事項

①標本抽出計画と集計母数(集計対象数)

今回の調査では、標本数(アンケート送付数)を県内5地域の母集団構成比(人口比率 ※平成27年1月1日現在の住民基本台帳登録人口に基づく)に応じて配分した。

	標本抽出計画				有効回答	
	母集団	母集団 構成比	抽出 標本数	標本 構成比	回収数	構成比
奈良	302,219	26.3 %	261	26.1 %	121	26.6 %
東和	177,704	15.5 %	155	15.5 %	61	13.4 %
西和	290,440	25.3 %	253	25.3 %	121	26.6 %
中和	311,903	27.1 %	272	27.2 %	114	25.1 %
南和	67,184	5.8 %	59	5.9 %	30	6.6 %
無回答	-	-	-	-	8	1.8 %
合計	1,149,450	100.0 %	1,000	100.0 %	455	100.0 %

②調査結果の精度

今回の調査は標本調査のため、調査結果(標本測定値)から母集団の意識や課題、要望を推定することができます。ただ、標本(調査対象)抽出の際に生じる標本誤差を考慮したうえで調査結果を分析し、また母集団の意識や課題、要望を推定する必要があります。

世論調査では、信頼度95%(同じ調査で標本(調査対象)を変えて行った場合、100回中95回までは同様の結果が得られる(5回程度は異なる結果が出ることは許容される)と考えてもよい)の水準を求めるのが一般的とされています。

これに基づき、今回の調査における標本測定値の標本誤差は以下の数式で求められます。

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε : 標本誤差

± 1.96 : 信頼度 95%の時の信頼係数

N: 母集団数(本調査では 1,149,450 人)

n: 標本数(回収数。本調査では有効回答数 455 件)

P: 標本測定値(50%のときに最大)

上記の式に必要な数値をあてはめて計算すると、「 ε (標本誤差) = 4.59」(小数第3位四捨五入)という数値が得られます。このことから、今回と同じ調査を調査対象を変えて行った場合、ある設問のある選択肢の回答比率が50%であった場合、その回答比率の誤差は $\pm 4.59\%$ (45.41%~54.59%)の範囲内であると考えても間違いないといえます。

5. 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて

- 比率はすべて、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数(副問では当該設問回答対象者数)に対する百分率(%)を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問(複数回答設問)では、百分率(%)の合計は、100.0%を超える場合がある。
- 百分率(%)は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問(単数回答設問)では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率(%)の合計が100.0%にならない場合がある。
- 図表中の「N」は集計対象者数を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。
- 2つの選択肢を集約した場合(「非常に満足している」と「やや満足している」を合計した『満足』など)は、該当選択肢の回答数の合計から割合を算出しているため、グラフに示した選択肢ごとに算出した割合の合計と一致しない場合がある。

Ⅱ. 回答者の属性

①年齢

	選択肢	回答数 (件)	割合 (%)
1	20代	20	4.4
2	30代	37	8.1
3	40代	60	13.2
4	50代	64	14.1
5	60代	123	27.0
6	70代	98	21.5
7	80代以上	51	11.2
	無回答	2	0.4
	合計	455	100.0

②性別

	選択肢	回答数 (件)	割合 (%)
1	男性	174	38.2
2	女性	279	61.3
	無回答	2	0.4
	合計	455	100.0

③居住地域

	選択肢	回答数 (件)	割合 (%)	(集約)	回答数 (件)	割合 (%)
1	奈良市	121	26.6	奈良	121	26.6
2	天理市	33	7.3	東和	61	13.4
3	宇陀市	22	4.8			
4	川西町	6	1.3	西和	121	26.6
5	大和郡山市	47	10.3			
6	生駒市	60	13.2			
7	斑鳩町	14	3.1	中和	114	25.1
8	大和高田市	33	7.3			
9	橿原市	50	11.0			
10	香芝市	31	6.8			
11	五條市	20	4.4	南和	30	6.6
12	大淀町	7	1.5			
13	十津川村	2	0.4			
14	川上村	1	0.2			
	無回答	8	1.8	無回答	8	1.8
	合計	455	100.0	合計	455	100.0

④同居家族

	選択肢	回答数 (件)	割合 (%)
1	幼児 (0歳～小学校就学前)	42	9.2
2	小学生または中学生	55	12.1
3	高校生～65歳未満	301	66.2
4	65歳以上	284	62.4
	無回答	21	4.6
	合計	455	100.0

Ⅲ. 調査結果

1. 市町村や都道府県での取り組みについて

(1)「地域医療構想」の認知度

問1 あなたは、都道府県が今年度から策定を進めている「地域医療構想」を知っていますか？ 次のうち最もよく当てはまるものを1つお選びください。

	選択肢	回答数（件）	割合（％）
1	聞いたこともあり、内容も知っている	20	4.4
2	聞いたことはあるが、内容は知らない	162	35.6
3	知らない（初めて聞いた）	271	59.6
	無回答	2	0.4
	合計	455	100.0

(2)「地域包括ケアシステム」の認知度

問2 あなたは、市町村や都道府県が構築に向けて取り組んでいる「地域包括ケアシステム」を知っていますか？ 次のうち最もよく当てはまるものを1つお選びください。

	選択肢	回答数（件）	割合（％）
1	聞いたこともあり、内容も知っている	47	10.3
2	聞いたことはあるが、内容は知らない	138	30.3
3	知らない（初めて聞いた）	266	58.5
	無回答	4	0.9
	合計	455	100.0

2. 日常的に受診する医療機関や地域の医療について

(1)「かかりつけ医」の有無

問3 あなたには、日頃から身近で相談にのってもらえる「かかりつけ医」がいますか？
次のうち最もよく当てはまるものを1つお選びください。

	選択肢	回答数（件）	割合（%）
1	いる	286	62.9
2	いないが、いると良いと思う	150	33.0
3	いないし、いなくても構わない	14	3.1
4	わからない	4	0.9
	無回答	1	0.2
	合計	455	100.0

(2)よく受診する病院・診療所までの所要時間

問4 あなたご自身やご家族が、日常的に最もよく受診する病院や診療所までの移動時間として、
次のうち最も当てはまるものを1つお選びください。

	選択肢	回答数（件）	割合（%）
1	徒歩10分以内の距離にある	95	20.9
2	車で30分以内の距離にある	295	64.8
3	車で1時間以内の距離にある	41	9.0
4	車で1時間以上かかる	4	0.9
5	医療機関を受診する機会はほとんどない	14	3.1
	無回答	6	1.3
	合計	455	100.0

(3)地域の医療の満足度

問5 あなたは、あなたがお住まいの地域の医療について満足していますか？
次のうち最もよく当てはまるものを1つお選びください。

	選択肢	回答数（件）	割合（%）
1	非常に満足している	30	6.6
2	やや満足している	245	53.8
3	やや不満である	94	20.7
4	非常に不満である	32	7.0
5	わからない	45	9.9
	無回答	9	2.0
	合計	455	100.0

(4)地域の医療施設の状況

①地域医療施設の充実度

問6 あなたがお住まいの地域の病院や診療所について、どのように感じていますか？
次のうち最もよく当てはまるものを1つお選びください。

	選択肢	回答数（件）	割合（％）
1	医療施設はたくさんあるので、十分	31	6.8
2	医療施設はかなりあるので、特に不便はない	286	62.9
3	医療施設はあるが、自分の受けたい診療科が無くて不便	82	18.0
4	医療施設が少なくて（無くて）困っている	37	8.1
	無回答	19	4.2
	合計	455	100.0

②無くて困っている診療科

問6で「3. 医療施設はあるが、自分の受けたい診療科が無くて不便」または「4. 医療施設が少なくて（無くて）困っている」とお答えの方にお伺いします。

問6-1 あなたが住んでいる地域に、「無くて困っている診療科」はなんですか。
次のうち当てはまるものを全てお選びください。

※問6で「3」または「4」を選択した人のみ

	選択肢	回答数（件）	割合（％）
1	内科	18	15.1
2	小児科	19	16.0
3	外科	25	21.0
4	整形外科	29	24.4
5	産婦人科	31	26.1
6	耳鼻咽喉科	45	37.8
7	眼科	43	36.1
8	皮膚科	37	31.1
9	泌尿器科	21	17.6
10	精神科	26	21.8
11	アレルギー科	23	19.3
12	脳神経外科	32	26.9
13	心臓血管外科	28	23.5
14	リハビリテーション科	18	15.1
15	歯科	15	12.6
16	その他	17	14.3
	無回答	3	2.5
	合計	119	100.0

(5)「コンビニ受診」に対する考え

問7 軽度な病気でも救急医療を利用するなどの、いわゆる「コンビニ受診」と言われる受診行動について、どのようにお考えですか？ 次のうち最も当てはまるものを1つお選びください。

	選択肢	回答数（件）	割合（％）
1	問題だと思うし、行わないように心がけている	326	71.6
2	問題だと思うが、やむを得ないと思う	45	9.9
3	問題だとは思わない	7	1.5
4	わからない	59	13.0
	無回答	18	4.0
	合計	455	100.0

(6)医療施設の役割分担に対する考え

問8 あなたは、「比較的軽い病気やけがは、患者の近くの診療所、医院が治療を受け持ち、比較的大きな病院は、病状が進んだ患者の治療や難しい病気の治療に専念すべきである」という考えについてどう思われますか？ 次のうち最も当てはまるものを1つ選びください。

	選択肢	回答数（件）	割合（％）
1	大いに賛成	156	34.3
2	どちらかといえば賛成	236	51.9
3	どちらかといえば反対	52	11.4
4	全く反対	7	1.5
	無回答	4	0.9
	合計	455	100.0

(7)今後充実して欲しい医療分野

問9 あなたが今後充実して欲しいと思う医療分野は何ですか。
次のうち当てはまるものを全てお選びください。

	選択肢	回答数（件）	割合（％）
1	がん	291	64.0
2	脳卒中	169	37.1
3	急性心筋梗塞	191	42.0
4	糖尿病	113	24.8
5	精神疾患（うつなど）	123	27.0
6	救急医療	243	53.4
7	小児救急を含む小児医療	146	32.1
8	産科等の周産期医療	110	24.2
9	難病医療	103	22.6
10	在宅医療	217	47.7
11	感染症医療（結核、エイズなど）	50	11.0
12	災害医療	60	13.2
13	リハビリテーション医療	137	30.1
14	認知症	249	54.7
15	緩和ケア	185	40.7
16	その他	9	2.0
	無回答	5	1.1
	合計	455	100.0

3. 居住地域の「在宅医療」および「在宅介護」について

(1)「在宅医療」の認知・利用状況

①「在宅医療」についての認知度

問10 あなたは「在宅医療」について知っていますか？
次のうち最もよく当てはまるものを1つお選びください。

	選択肢	回答数（件）	割合（％）
1	聞いたこともあり、内容も知っている	163	35.8
2	聞いたことはあるが、内容は知らない	258	56.7
3	知らない（初めて聞いた）	31	6.8
	無回答	3	0.7
	合計	455	100.0

②「在宅医療」の利用状況

問10で「1. 聞いたこともあり、どのようなものかも知っている」とご回答いただいた方にお伺いします。

問10-1 あなたご自身またはご家族は「在宅医療」を利用したことがありますか？
次のうち最もよく当てはまるものを1つお選びください。

	選択肢	回答数（件）	割合（％）
1	自分や家族が、利用したことがある	47	28.8
2	利用したことはないが、どのように利用すれば良いかは知っている	66	40.5
3	利用したことはなく、利用方法も知らない	41	25.2
4	特に利用したいと思わない	8	4.9
	無回答	1	0.6
	合計	163	100.0

※問10で「1」を選択した人のみ

(2)現在利用可能と認識している在宅医療・在宅介護

問11 以下の在宅医療および在宅介護のうち、現在あなたのお宅で利用可能と認識しているものについて、当てはまるものを全てお選びください。

	選択肢	回答数（件）	割合（％）
1	医師による訪問診療または往診（薬の処方など含む）	290	63.7
2	看護師による訪問看護	193	42.4
3	歯科医師による訪問歯科診療	96	21.1
4	歯科衛生士による訪問歯科衛生指導	65	14.3
5	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による訪問リハビリテーション	86	18.9
6	薬剤師による訪問薬剤指導（薬の供給などを含む）	64	14.1
7	栄養士による訪問栄養指導	68	14.9
8	訪問介護サービス	246	54.1
9	通所介護サービス（デイサービス）	230	50.5
10	短期入所介護サービス（ショートステイ）	185	40.7
11	小規模多機能型居宅介護	51	11.2
12	その他	9	2.0
13	わからない	73	16.0
	無回答	32	7.0
	合計	455	100.0

(3)利用を希望する在宅医療・在宅介護

問12 以下の在宅医療および在宅介護のうち、あなた自身やご家族が必要となった際には(現在実際に受けられるかどうかと関係なく)利用を希望するものについて、当てはまるものを全てお選びください。

	選択肢	回答数(件)	割合(%)
1	医師による訪問診療または往診(薬の処方など含む)	382	84.0
2	看護師による訪問看護	273	60.0
3	歯科医師による訪問歯科診療	173	38.0
4	歯科衛生士による訪問歯科衛生指導	92	20.2
5	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による訪問リハビリテーション	168	36.9
6	薬剤師による訪問薬剤指導(薬の供給などを含む)	106	23.3
7	栄養士による訪問栄養指導	101	22.2
8	訪問介護サービス	348	76.5
9	通所介護サービス(デイサービス)	303	66.6
10	短期入所介護サービス(ショートステイ)	288	63.3
11	小規模多機能型居宅介護	105	23.1
12	その他	8	1.8
13	わからない	19	4.2
	無回答	14	3.1
	合計	455	100.0

4. 回答者や家族の終末期について

(1) 回答者自身の終末期の考え

① 回答者自身の終末期の希望

問13 あなた自身が将来、人生の最期を迎えるにあたってどのような希望を持っていますか？
次のうち当てはまるものを全てお選びください。

選択肢	回答数（件）	割合（％）
1 看取られる場所について希望がある	189	41.5
2 自力で食事が取れなくなっても人工栄養で延命してほしい	8	1.8
3 自力で呼吸ができなくなっても人工呼吸装置などで延命してほしい	3	0.7
4 特に希望はない	148	32.5
5 考えたことがない	93	20.4
無回答	19	4.2
合計	455	100.0

② 回答者自身が看取られたい場所

問13で「1. 看取られる場所について希望がある」とご回答いただいた方にお伺いします。

問13-1 あなたご自身は、どこで看取られることを希望していますか？

次のうち最もよく当てはまるものを1つお選びください。

※問10で「1」を選択した人のみ

選択肢	回答数（件）	割合（％）
1 自宅	96	50.8
2 家族（子どもなど）の家	8	4.2
3 病院	62	32.8
4 介護施設	9	4.8
5 その他	9	4.8
無回答	5	2.6
合計	189	100.0

(2) 家族が自宅看取りを希望した場合の考え

問14 もし、あなたのご家族が、人生の最期を迎えるにあたって、「自宅で看取られたい」と希望した場合、あなたの意識として最も当てはまるものを1つお選びください。

選択肢	回答数（件）	割合（％）
1 できる限り自宅で看取りたいと思う	241	53.0
2 自宅で看取るとは難しいと思う	127	27.9
3 わからない	59	13.0
無回答	28	6.2
合計	455	100.0

5. 医療情報の電子化について

(1)ICT技術の推進意向

問15 あなたの診療情報・投薬情報などを、ICT技術を活用して、かかりつけ医や病院、薬局、介護施設などの間で共有する取組について、「利便性や効率、医療の質が向上する」というメリットと、「プライバシーや情報漏えい」というリスクが考えられます。
次のうちあなたの考えに最も当てはまるものを1つお選びください。

	選択肢	回答数（件）	割合（%）
1	メリットが大きいため、大いに推進すべきである	86	18.9
2	リスクがあるため、注意深く推進すべきである	235	51.6
3	リスクがあるため、あまり推進すべきではない	36	7.9
4	リスクが大きいため、絶対に推進すべきではない	6	1.3
5	わからない	87	19.1
	無回答	5	1.1
	合計	455	100.0

6. 地域の医療・介護の提供体制について

問20 2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、医療・介護を必要とする方がますます増加すると考えられます。
このような中で、地域の医療・介護の提供体制はどうあるべきか、ご意見等がありましたらご記入ください。

※自由記述 整理中

奈良県地域医療構想策定に係る県民アンケート調査 ご協力のお願い

平素より、県政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

県では、このたび、県の地域医療構想の策定に向け、県民の皆様が医療についてどのように考えておられるのか、また日頃どのように診療を受けておられるのかなど、医療に関する実態やニーズを把握するため、アンケート調査を実施することといたしました。

このアンケート調査は、県民の皆様の中から無作為抽出により選ばれた1,000人の方を対象に実施するもので、集計結果は、今後の医療行政を進めていくうえでの大切な基礎資料となります。

ご回答は無記名でお願いするとともに、ご回答いただいた内容は統計的に処理いたしますので、あなた個人のお名前やご意見が特定されることはありません。また、ご回答いただいた内容は、調査の目的以外には使用いたしません。

お忙しいところ、お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年2月

奈良県知事 荒井 正吾



ご回答にあたってのお願い

- 封筒の宛名のご本人がご記入くださいますようお願いいたします。
(ただし、ご本人様による記入が困難な場合には、ご家族などがご本人から聞き取って代筆をお願いします。)
- それぞれの間で、あなたのお考えにあてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
- 「その他」に○印をつけられた場合には、()内に具体的な内容をご記入ください。
- ご記入は、黒や青のボールペンまたは鉛筆ではっきりとわかりやすくお願いします。
- ご回答が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に調査票を入れて、平成28年2月29日(月)までにお近くの郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。

本調査についてご不明な点などがございましたら、下記へお問い合わせください。

奈良県 医療政策部 地域医療連携課 医療企画係
電話 **0742-27-8645** (直通) 担当：やまもと

奈良県地域医療構想策定に係る県民アンケート調査

■ 市町村や都道府県での取り組みについてお伺いします。

問1 あなたは、都道府県が今年度から策定を進めている「**地域医療構想**」を知っていますか？

次のうち最もよく当てはまるものを **1つ** お選びください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 聞いたこともあり、内容も知っている | 2. 聞いたことはあるが、内容は知らない |
| 3. 知らない（初めて聞いた） | |

問2 あなたは、市町村や都道府県が構築に向けて取り組んでいる「**地域包括ケアシステム**」を知っていますか？

次のうち最もよく当てはまるものを **1つ** お選びください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 聞いたこともあり、内容も知っている | 2. 聞いたことはあるが、内容は知らない |
| 3. 知らない（初めて聞いた） | |

■ 日常的に受診する医療機関や地域の医療についてお伺いします。

問3 あなたには、日頃から身近で相談にのってもらえる「**かかりつけ医**」がいますか？

次のうち最もよく当てはまるものを **1つ** お選びください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. いる | 2. いないが、いると良いと思う |
| 3. いないし、いなくても構わない | 4. わからない |

問4 あなたご自身やご家族が、日常的に最もよく受診する病院や診療所までの移動時間として、次のうち最も当てはまるものを **1つ** お選びください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 徒歩 10 分以内の距離にある | 2. 車で 30 分以内の距離にある |
| 3. 車で 1 時間以内の距離にある | 4. 車で 1 時間以上かかる |
| 5. 医療機関を受診する機会ほとんどない | |

問 8 あなたは、「比較的軽い病気やけがは、患者の近くの診療所、医院が治療を受け持ち、比較的大きな病院は、病状が進んだ患者の治療や難しい病気の治療に専念すべきである」という考えについてどう思われますか？
次のうち最も当てはまるものを **1つ** 選びください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 大いに賛成 | 2. どちらかといえば賛成 |
| 3. どちらかといえば反対 | 4. 全く反対 |

問 9 あなたが今後充実して欲しいと思う医療分野は何ですか。 次のうち当てはまるものを **全て** お選びください。

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. がん。 | 2. 脳卒中 |
| 3. 急性心筋梗塞 | 4. 糖尿病 |
| 5. 精神疾患（うつなど） | 6. 救急医療 |
| 7. 小児救急を含む小児医療 | 8. 産科等の周産期医療 |
| 9. 難病医療 | 10. 在宅医療 |
| 11. 感染症医療（結核、エイズなど） | 12. 災害医療 |
| 13. リハビリテーション医療 | 14. 認知症 |
| 15. 緩和ケア* | 16. その他（) |

※緩和ケア：がん等と診断されたときから行う、身体的・精神的な苦痛を和らげるための医療

■ あなたがお住まいの地域における「在宅医療」および「在宅介護」についてお伺いします。

問 10 あなたは「在宅医療」について知っていますか？ 次のうち最もよく当てはまるものを **1つ** お選びください。

- | | |
|----------------------------|----------|
| 1. 聞いたこともあり、どのようなものかも知っている | →問 10-1へ |
| 2. 聞いたことはあるが、どのようなものかは知らない | →問 11へ |
| 3. 知らない（初めて聞いた） | →問 11へ |

問 10 で「1. 聞いたこともあり、どのようなものかも知っている」とご回答いただいた方にお伺いします。

問 10-1 あなたご自身またはご家族は「在宅医療」を利用したことがありますか？

次のうち最もよく当てはまるものを **1つ** お選びください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 自分や家族が、利用したことがある |
| 2. 利用したことはないが、どのように利用すれば良いかは知っている |
| 3. 利用したことはなく、利用方法も知らない |
| 4. 特に利用したいと思わない |

問 1 1 以下の在宅医療および在宅介護のうち、現在あなたのお宅で利用可能と認識しているものについて、当てはまるものを **全て** お選びください。

1. 医師による訪問診療または往診（薬の処方など含む）
2. 看護師による訪問看護
3. 歯科医師による訪問歯科診療
4. 歯科衛生士による訪問歯科衛生指導
5. 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による訪問リハビリテーション
6. 薬剤師による訪問薬剤指導（薬の供給などを含む）
7. 栄養士による訪問栄養指導
8. 訪問介護サービス
9. 通所介護サービス（デイサービス）
10. 短期入所介護サービス（ショートステイ）
11. 小規模多機能型居宅介護
12. その他（)
13. わからない

問 1 2 以下の在宅医療および在宅介護のうち、あなた自身やご家族が必要となった際には（現在実際に受けられるかどうかと関係なく）利用を希望するものについて、当てはまるものを **全て** お選びください。

1. 医師による訪問診療または往診（薬の処方など含む）
2. 看護師による訪問看護
3. 歯科医師による訪問歯科診療
4. 歯科衛生士による訪問歯科衛生指導
5. 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による訪問リハビリテーション
6. 薬剤師による訪問薬剤指導（薬の供給などを含む）
7. 栄養士による訪問栄養指導
8. 訪問介護サービス
9. 通所介護サービス（デイサービス）
10. 短期入所介護サービス（ショートステイ）
11. 小規模多機能型居宅介護
12. その他（)
13. わからない

■ あなたやご家族の人生の最期を迎える終末期についてお伺いします。

問 1 3 あなた自身が将来、人生の最期を迎えるにあたってどのような希望を持っていますか？

次のうち当てはまるものを 全て お選びください。

- | | |
|-----------------------------------|-----------|
| 1. 看取られる場所について希望がある | ⇒問 1 3-1へ |
| 2. 自力で食事が取れなくなっても人工栄養で延命してほしい | } ⇒問 1 4へ |
| 3. 自力で呼吸ができなくなっても人工呼吸装置などで延命してほしい | |
| 4. 特に希望はない | |
| 5. 考えたことがない | |

問 1 3 で「1. 看取られる場所について希望がある」とご回答いただいた方にお伺いします。

問 1 3-1 あなた自身は、どこで看取られることを希望していますか？

次のうち最もよく当てはまるものを 1つ お選びください。

- | | | |
|---------|--------------------------------|-------|
| 1. 自宅 | 2. 家族（子どもなど）の家 | 3. 病院 |
| 4. 介護施設 | 5. その他（ ） | |

問 1 4 もし、あなたのご家族が、人生の最期を迎えるにあたって、「自宅で見取られたい」と希望した場合、あなたの意識として最も当てはまるものを 1つ お選びください。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. できる限り自宅で看取りたいと思う | 2. 自宅で看取るとは難しいと思う |
| 3. わからない | |

■ 医療情報の電子化についてお伺いします。

問 1 5 あなたの診療情報・投薬情報などを、ICT技術*を活用して、かかりつけ医や病院、薬局、介護施設などの中で共有する取組について、「利便性や効率、医療の質が向上する」というメリットと、「プライバシーや情報漏えい」というリスクが考えられます。次のうちあなたの考えに最も当てはまるものを 1つ お選びください。

※ICT技術：インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジーの略で、情報処理や通信に関する科学技術の総称

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. メリットが大きいため、大いに推進すべきである | 2. リスクがあるため、注意深く推進すべきである |
| 3. リスクがあるため、あまり推進すべきではない | 4. リスクが大きいため、絶対に推進すべきではない |
| 5. わからない | |

■ 最後にあなたご自身についてお伺いします。

問 16 あなたの年代は以下のうちどれですか？ 当てはまるものを 1つ お選びください。

- | | | |
|----------|--------|--------|
| 1. 20代 | 2. 30代 | 3. 40代 |
| 4. 50代 | 5. 60代 | 6. 70代 |
| 7. 80代以上 | | |

問 17 あなたの性別は以下のうちどちらですか？ 当てはまるものを 1つ お選びください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問 18 あなたの住む市町村をお答えください。

[]

問 19 あなたの同居されている家族（あなたご自身を含めて）には、どのような年代の方がいらっしゃいますか？
次のうち当てはまるものを 全て お選びください。

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 幼児（0歳～小学校就学前） | 2. 小学生または中学生 |
| 3. 高校生～65歳未満 | 4. 65歳以上 |

問 20 2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、医療・介護を必要とする方がますます増加すると考えられます。
このような中で、地域の医療・介護の提供体制はどうあるべきか、ご意見等がありましたらご記入ください。

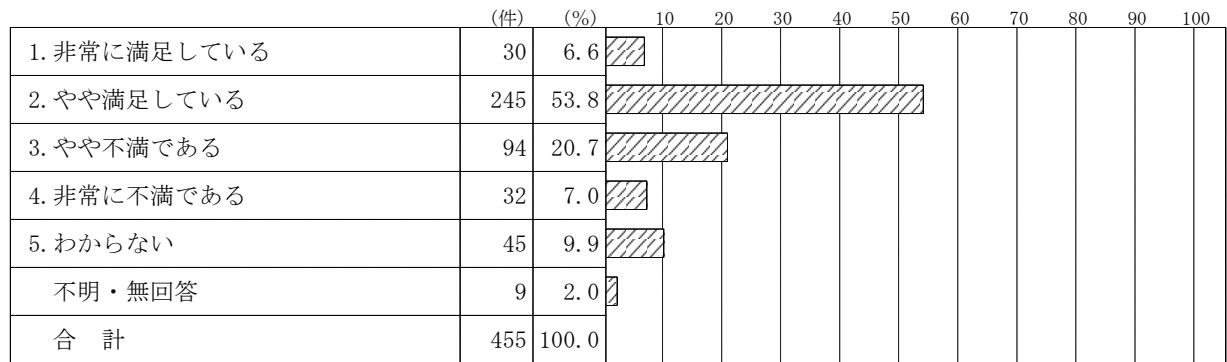
--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

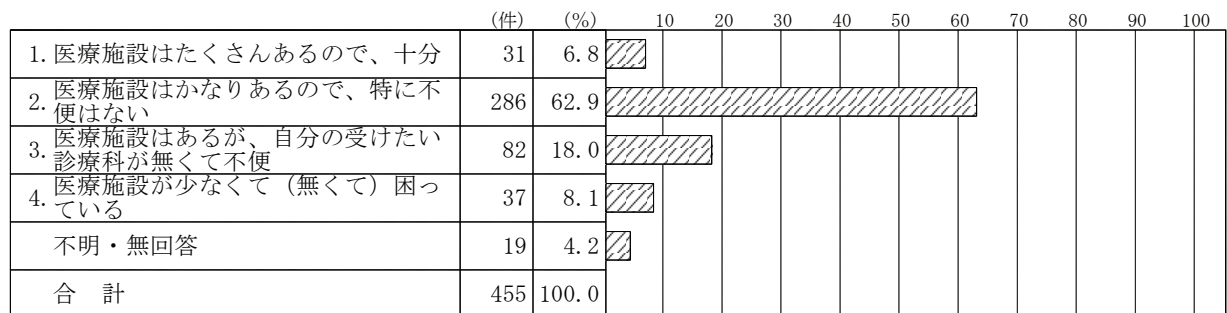
調査票は同封の封筒に入れて 2月29日(月)までに ご投函ください。

奈良県地域医療構想策定に係る県民アンケート調査

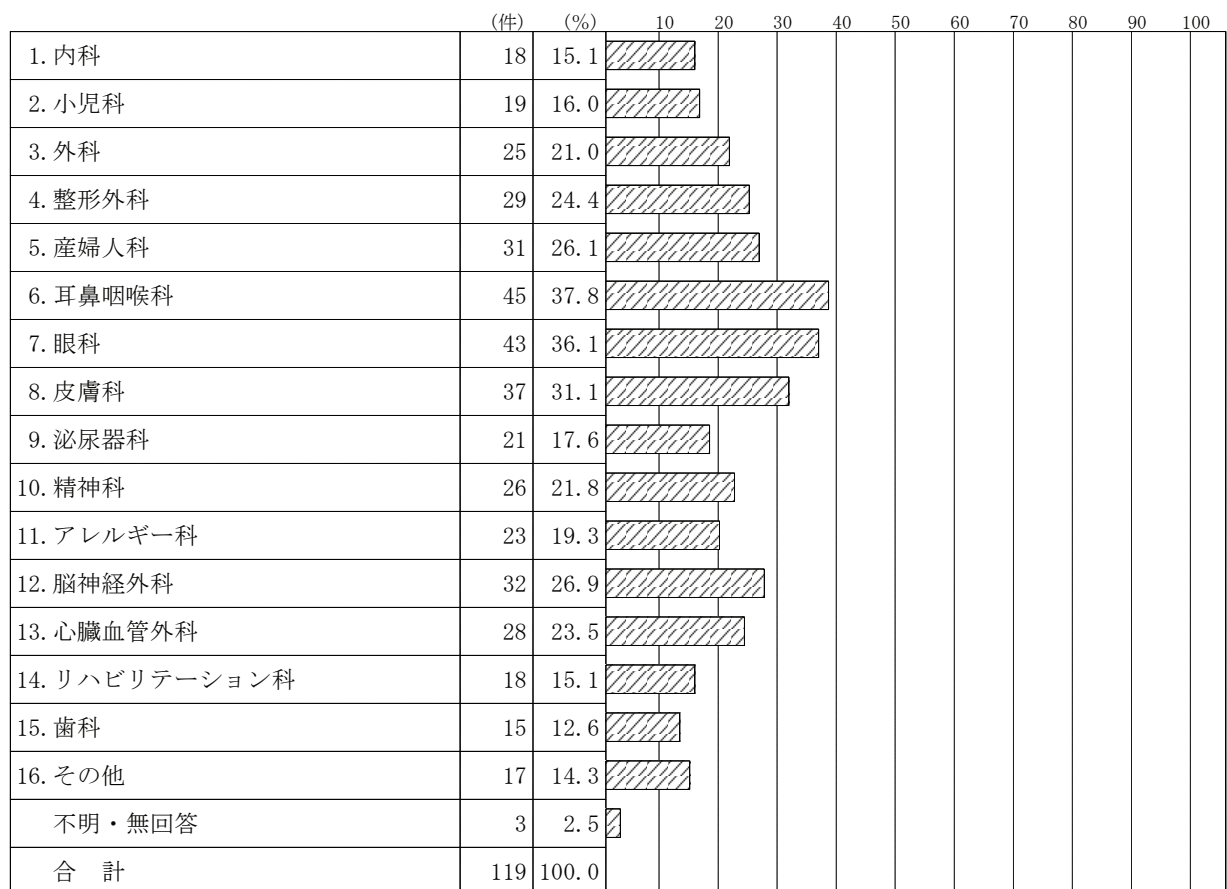
問05 地域の医療の満足度



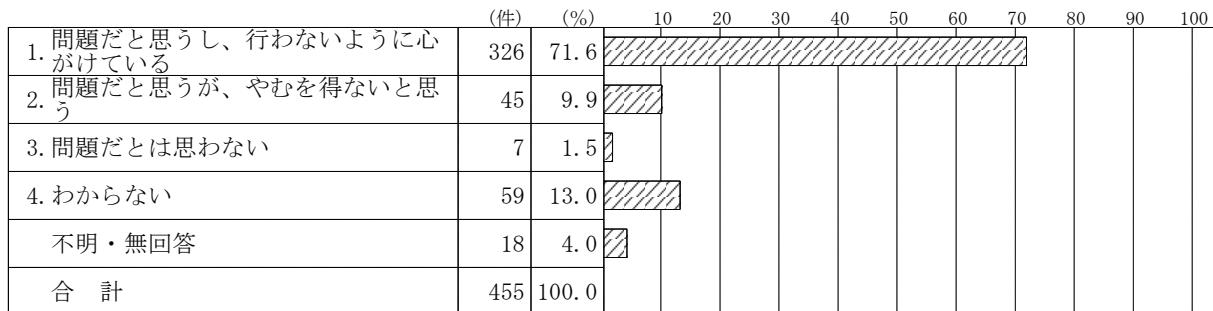
問06-0 地域の医療施設の充実度



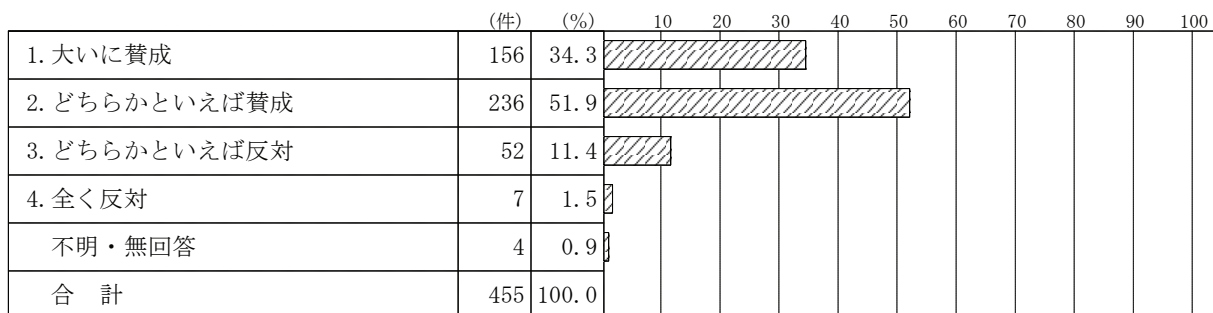
問06-1 無くて困っている診療科/MA/SQ



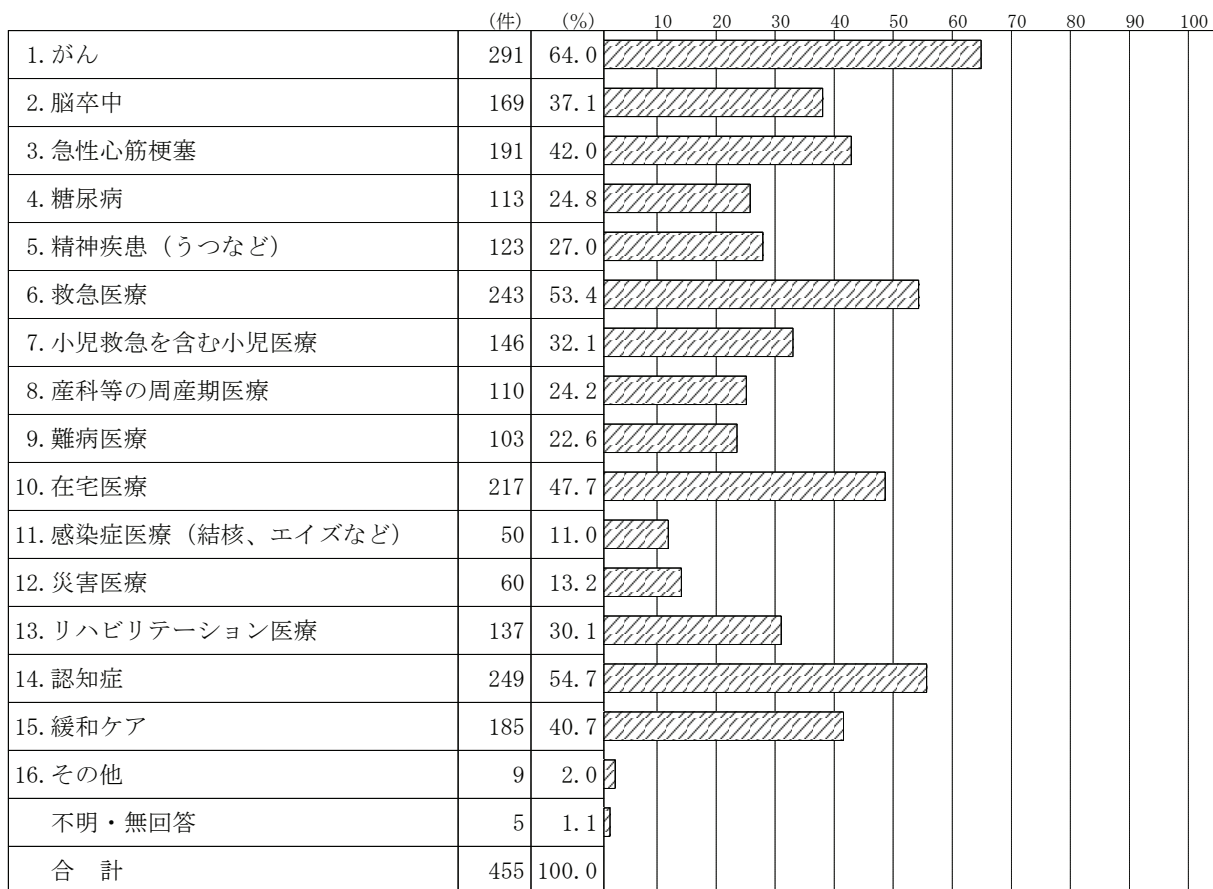
問07 「コンビニ受診」に対する考え



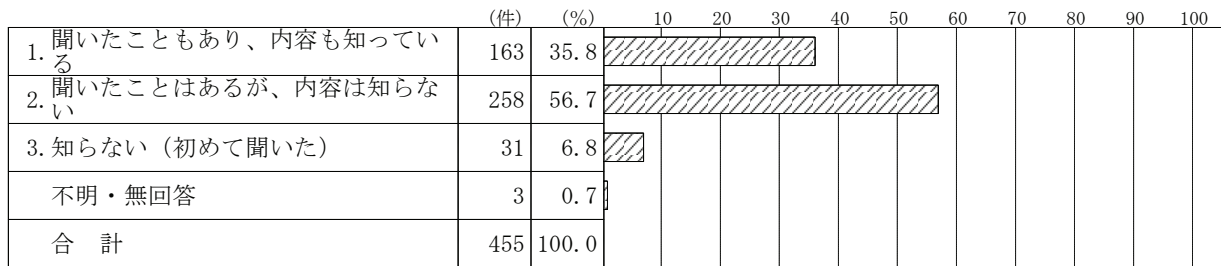
問08 医療施設の役割分担に対する考え



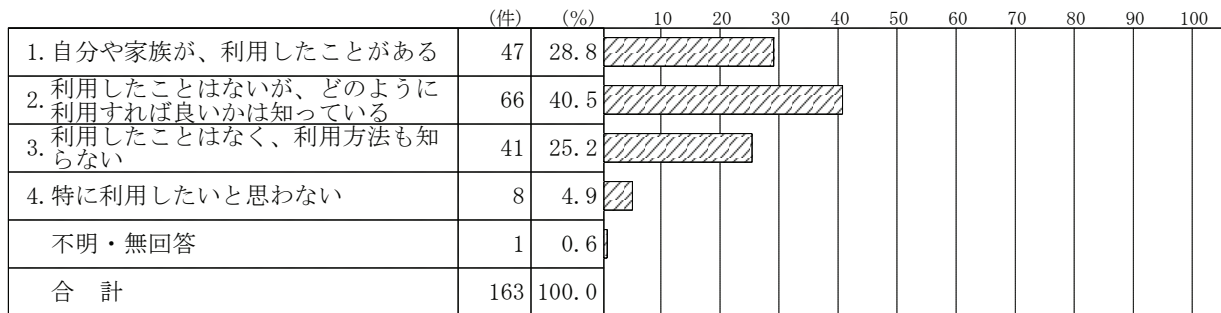
問09 今後充実して欲しい医療分野/MA



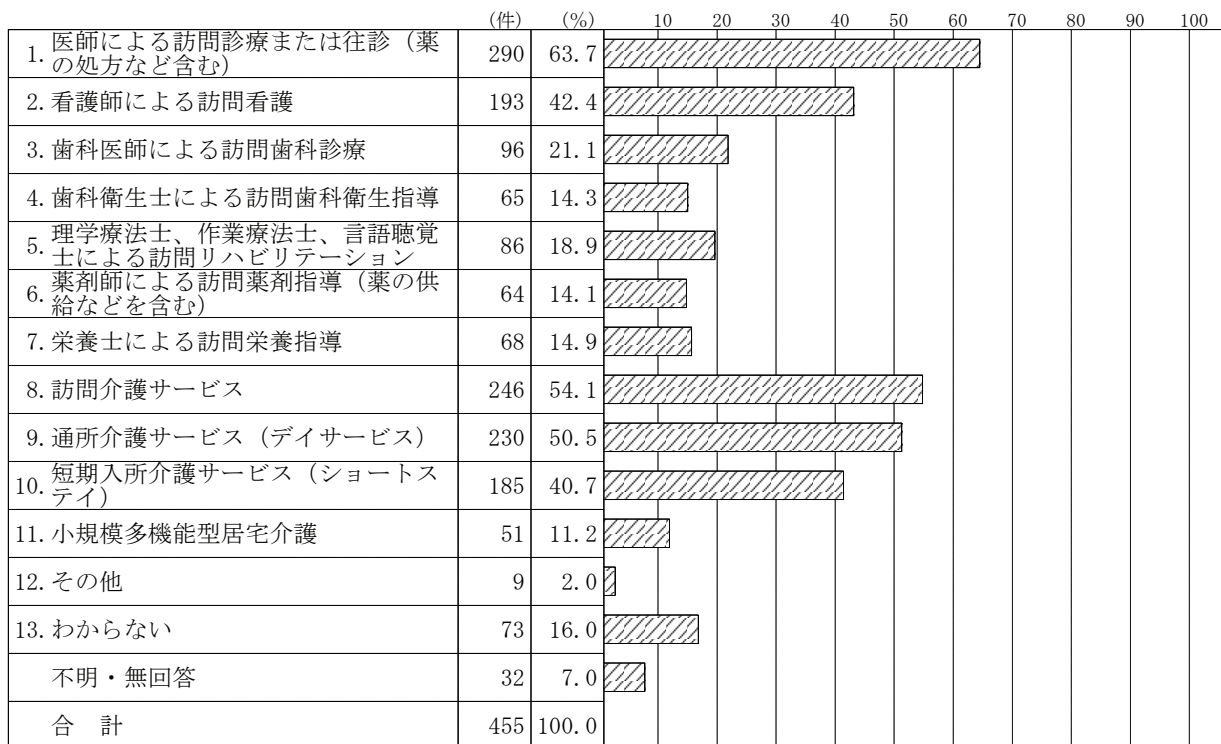
問10-0 「在宅医療」についての認知度



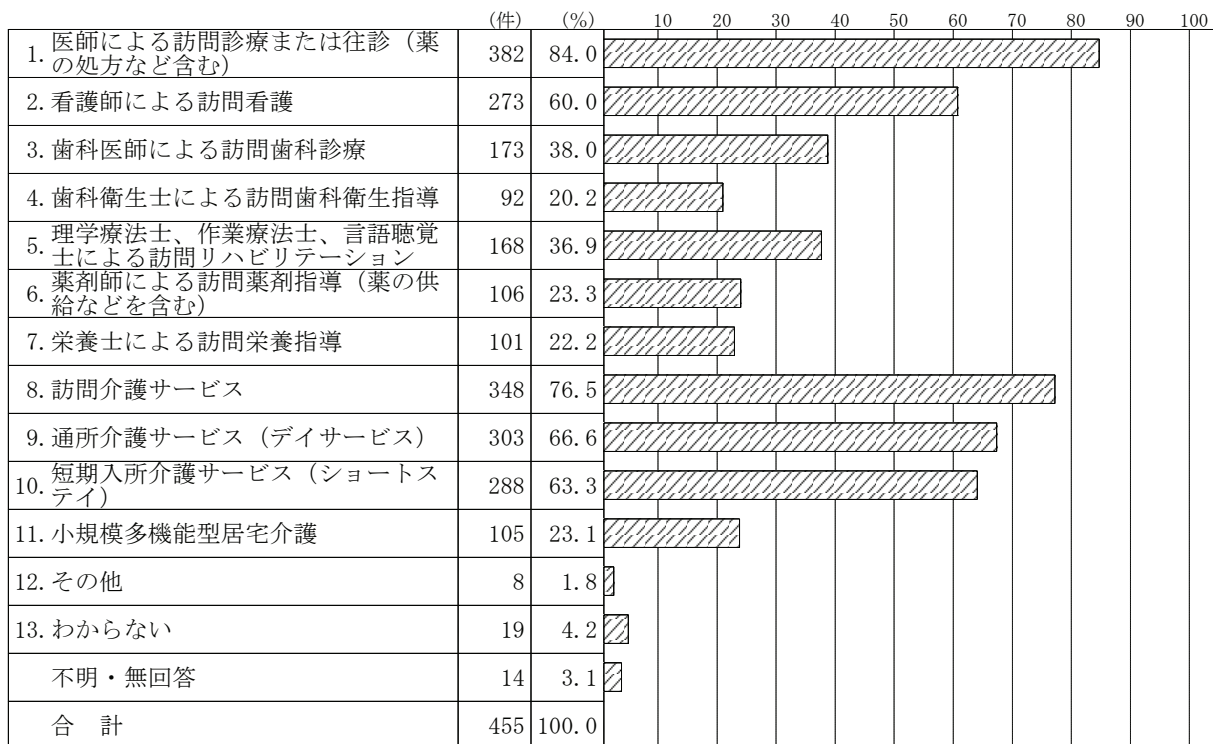
問10-1 「在宅医療」の利用状況



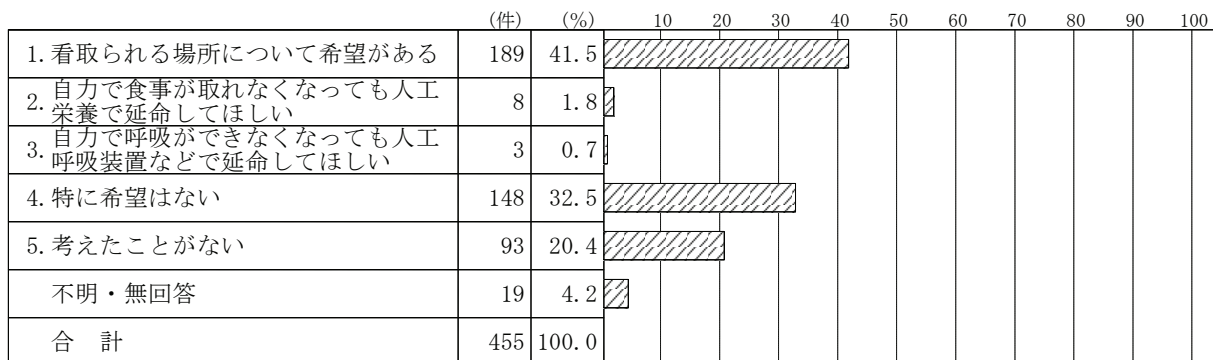
問11 現在利用可能と認識している在宅医療・在宅介護・MA



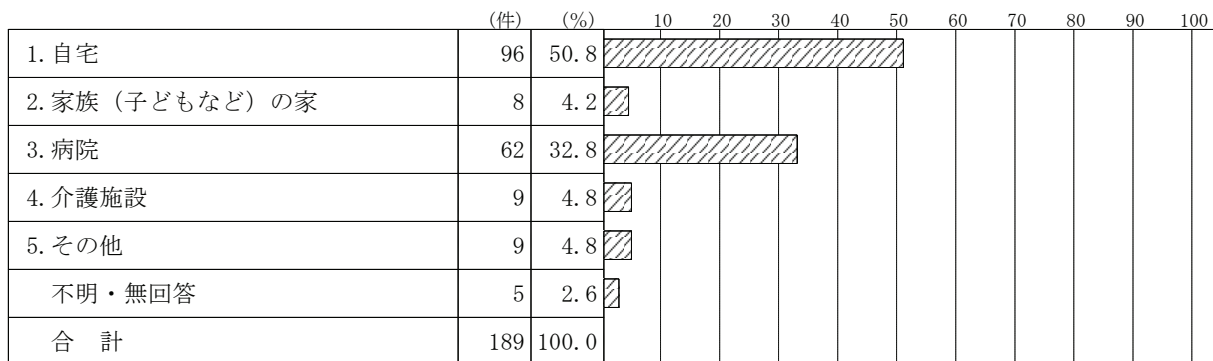
問12 利用を希望する在宅医療・在宅介護/MA



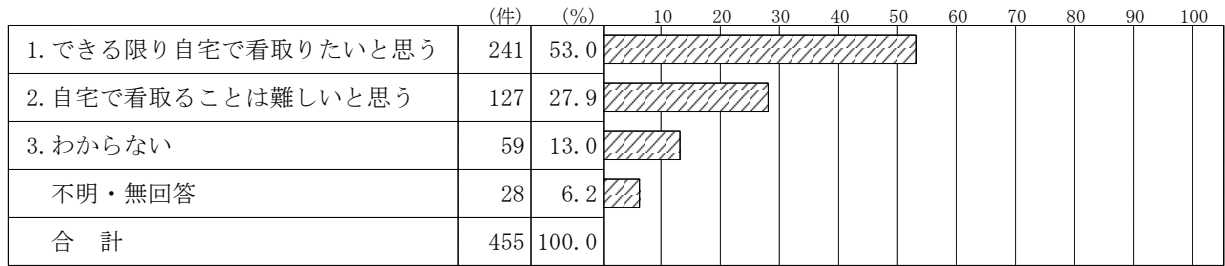
問13-0 回答者自身の終末期の希望/MA



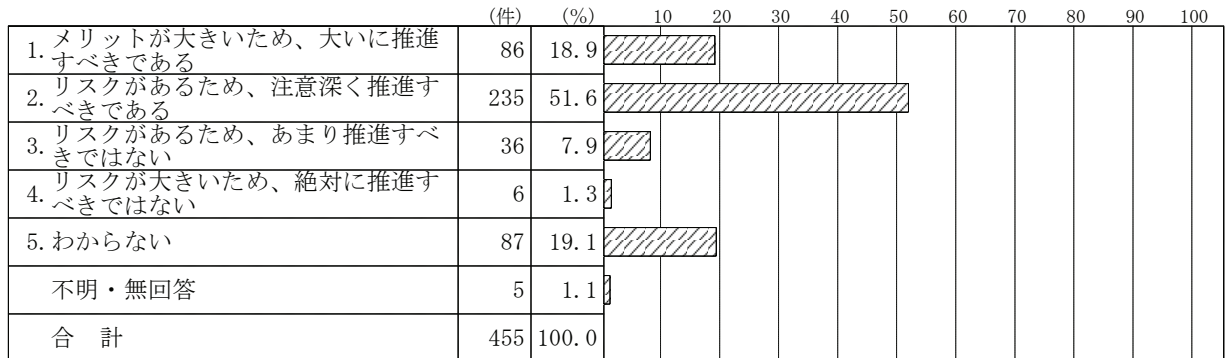
問13-1 回答者自身が看取られたい場所/SQ



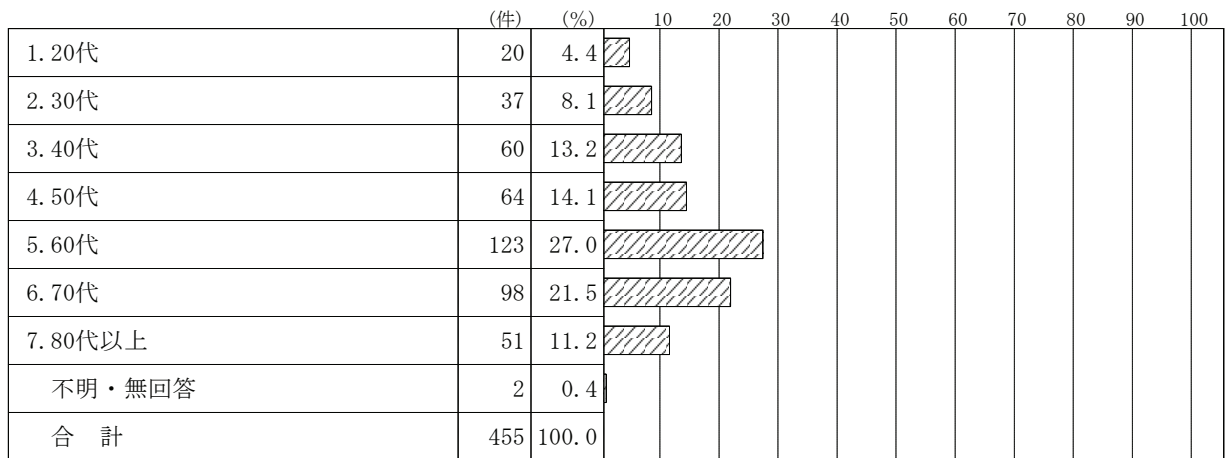
問14 家族が自宅看取りを希望した場合の考え



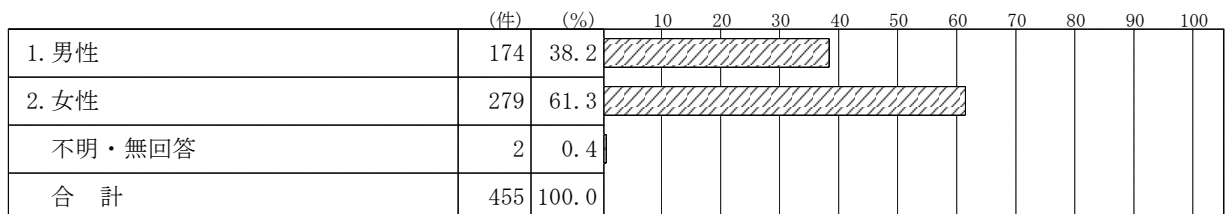
問15 ICT技術の推進意向



問16 年齢

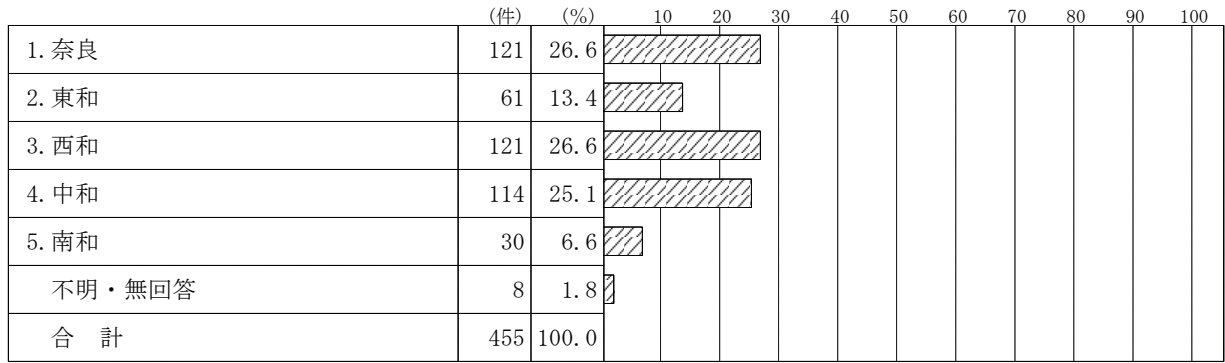


問17 性別

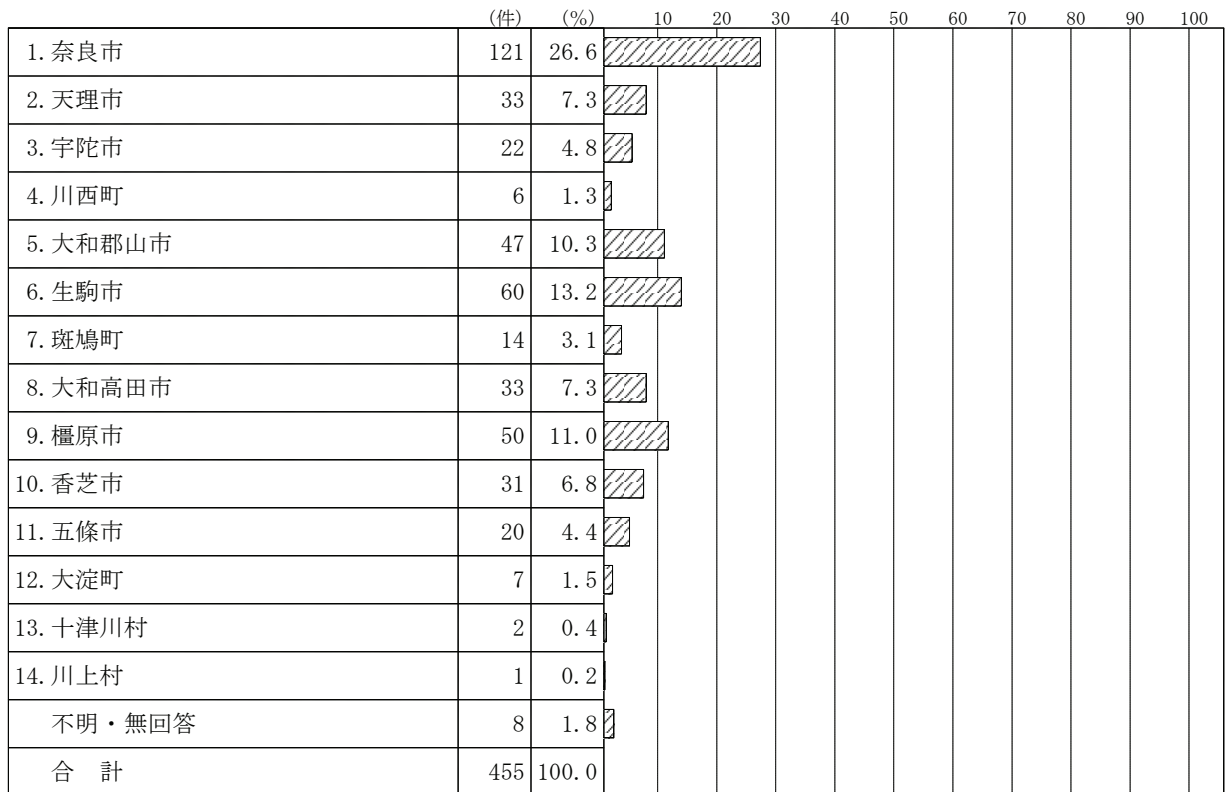


奈良県地域医療構想策定に係る県民アンケート調査

問18-1 居住地域



問18-2 居住自治体



問19 同居家族/MA

